BT水和剤

トアロー水和剤 CT

取扱メーカー:

石原, OAT, 一農, 琉産

原体メーカー:

OAT

成分:バチルス チューリンゲンシス菌の産生する結晶毒素

性状:淡褐色水和性粉末 **毒性**:普通物

消防法: 一

「B T 剤 (クルスターキ菌)]......7.0% (力価として70B.m.t.x 単位/mg)

【品目特性】

- ●チョウ目害虫の幼虫に対し、選択的に安定した 効果を示す。
- ●他の殺虫剤に対する抵抗性コナガに、高い効果 を示す。
- ●効き方は、一般の殺虫剤と異なり散布後、食害 が直ちに止まることで発揮される。害虫が死ぬま でしばらくかかるが、生存していても被害は進行 しない。
- ●ミツバチ、マメコバチ、マルハナバチなどの訪 花昆虫に影響がないので、開花時に使用できる。
- ●チリカブリダニ、クモ、寄生蜂などの天敵に影 響がない。
- ●水産動植物及び鳥類に対して安全性が高い。
- ●有効成分が蛋白質結晶であり、薬害のおそれは 少ない。
- ●有機 JAS 使用可能農薬。
- ●有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【薬効・薬害等の注意】 …………

- ●使用に当っては展着剤を加用する。
- ●石灰硫黄合剤、ボルドー液などアルカリ性の強 い薬剤との混用はさける。
- ●茶に使用する場合は、残臭のおそれがあるので、 摘採前7日以内の使用はさける。
- ●空中散布には使用しない。
- ●散布液調製後はそのまま放置せずできるだけ凍 やかに散布する。
- ●共通注意事項8 適用作物群に関する注意事項 を参照。

【安全対策上の注意】……………

●共通注意事項6. 街路・公園・堤とう等で使用 する場合の注意事項を参照。



作物名	適用害虫名	希釈倍数	10 a 当り 使用液量	使用時期	本剤の 使用回数	使用 方法	BT を含む農薬 の総使用回数
雑 穀 類 (ひえを除く)	アワノメイガ	1000倍	60 ∼ 150 ℓ				
ひえ		500~ 1000倍 1000倍					
野 菜 類 (パセリ,	ヨトウムシ	500~ 1000倍					
えごま (葉) を除く)	アオムシ コナガ	1000~ 2000倍					
パ セ リ	ヨトウムシ	500~ 1000倍	100∼	発生初期 但し収穫 前日まで	_	散布	_
	ハスモンヨトウ ヨトウムシ	500倍 500~	300 ℓ				
	アオムシコナガ	1000倍 1000~ 2000倍					
えごま(種子)	ベニフキノメイガ	1000倍 500~ 1000倍					
果 樹 類 (りんごを除く)	ハマキムシ類		200 ~ 700 ℓ				
りんご	ハマキムシ類 ヒメシロモンドクガ			att d. Leathi			
茶	チャノコカクモンハマキ ヨモギエダシャク		200 ∼ 400 ℓ	発生初期 但し摘採 7日前まで			
飼料用とうもろこし	アワノメイガ	1000倍	100 ∼ 300 ℓ	発生初期 但し収穫 前日まで			
たばこ	アオムシ	1000~ 2000倍 500~ 1000倍	25 ~ 180 ℓ	発生初期 但し収穫 3日前まで	4回以内		
	ヨトウムシ						
樹 木 類 (つばき類を除く)	アメリカシロヒトリ	1000~ 2000倍 1000倍 1000~ 2000倍	200 ~ 700 ℓ 100 ~ 300 ℓ	発生初期	_		
つばき類	イラガ類 アメリカシロヒトリ						
	チャドクガ イラガ類						
ストック	コナガ	1000 [